

一般会計予算を含む

～子育て・教育支援

令和2年度
一般会計予算

前年度比 14.1 億円増
204 億 5,500 万円

賛成 (17)

反対 (1)

◆賛成議員の主張

寺門 定範 議員 (新政とうかい)

「第6次総合計画」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」がスタートする。予算は、出産・子育て環境の充実と福祉施策、環境基盤の充実など多くの事業が、新たな目標の達成に向けた編成となっており賛成する。

岡崎 悟 議員 (公明党)

令和2年度予算、施策の方向性を「未来を担う人づくり・まちの魅力向上・暮らしの基盤整備」の3点に整理し、編成された。コロナウイルス感染症不安の中、地域経済を下支えするための重要な予算、速やかな執行を求める。

◆反対議員の主張

大名 美恵子 議員

国家の個人監視につながるマイナンバーの使用、東海中の給食調理の民間委託、議員定数削減及び1議員2万円の報酬引上げ等は容認できない。指定難病、関節リウマチ患者への見舞金支給に精神障がい患者も加えるべき。

江田 五六 議員 (みすずの会)

「新型コロナウイルス」問題は人類生存への挑戦である。村民の生活環境は厳しく、委託事業費等を見直し、税金の有効活用を図る必要がある。また、村民生活ファーストの立場で生活弱者に対する支援の拡充を図ること。

原子力問題調査特別委員会を設置

今定例会の最終日に、「原子力問題調査特別委員会」の設置を全会一致で可決しました。この特別委員会は、議長を除く全議員17名で構成し、村内原子力関連施設に関する諸問題について調査・研究することを目的としています。

4月8日に1回目の委員会を開催し、今後の進め方などを議論しました。



▲原子力問題調査特別委員会のようす